

■2014年のテーマ

「若い力を、党再生のエンジンに。」～継続、継承、そして発展～

■6つの活動方針

- ①ブロック、都道府県連活動の支援
- ②青年団体・海外等との交流
- ③選挙対策・支援
- ④政治スクール立ち上げ・運営
- ⑤学生部・ユースチームの運営
- ⑥全国大会の開催

■特記事項

本年は年前半に思い切ってアクセルを踏み、来春の統一地方選対策に弾みをつけたい。

■具体的な活動

①ブロック、都道府県連活動の支援／②青年団体等との交流

- ・ブロックには年50万円の活動資金を交付する（北海道、東京は40万円）。ブロック内役員会を開催し、年間活動スケジュールを立て、事業を実施する。
- ・都道府県連には、①年1回の定期大会または総会の開催、②連合青年委員会等の青年団体との交流を実施するための交付金10万円を、申請に基づき交付する。
- ・党本部役員により、ブロック及び都道府県連の活動に対するアドバイス等の支援やフォローを丁寧実施する。
- ・これまで続いている台湾との交流をはじめ、機会を捉えて諸外国との交流を進める。

③選挙対策・支援

- ・2014年の中間選挙、2015年の統一地方選挙の必勝を期して、①全国横断政策を立案・策定する、②選挙ノウハウに関する事例等の研修会を行う、③全国の青年議員の改選・非改選の状況を確認し、非改選の自治体議員を中心とするチームを設置し、具体的な選挙支援活動に展開できるよう模索する。また、若手社会人・学生の「選挙インターン」チームを編成し、派遣する。時期としては、特に年後半以降、相互の積極的な支援を図る。
- ・落選議員及び新人候補に対し、何らかの支援を検討する。

④政治スクール立ち上げ・運営

- ・東京都連「民主党大学東京」との共催により、党本部に政治スクールを立ち上げる。対象は若手社会人、学生などの若者で、政治への関心を向上させ、その中から新人候補者の発掘にも繋げたい。首都圏以外での立候補を検討する新人候補には、当該地方の現職地方議員とのマッチング（里帰り制度）を実施する。
- ・首都圏以外での政治スクールについては、ブロックないし各道府県連からの手挙げ方式により予算を重点配分する。

⑤学生部・ユースチームの運営

- ・首都圏の学生を募集し、学生部の活動を再開させること。
- ・ユースチームについても活動計画を立て、実行して行く。

⑥全国大会の開催

- ・今年7月に北海道で「全国大会・選挙戦術研修会」を開催する。

★「理念」・「ビジョン」の策定

